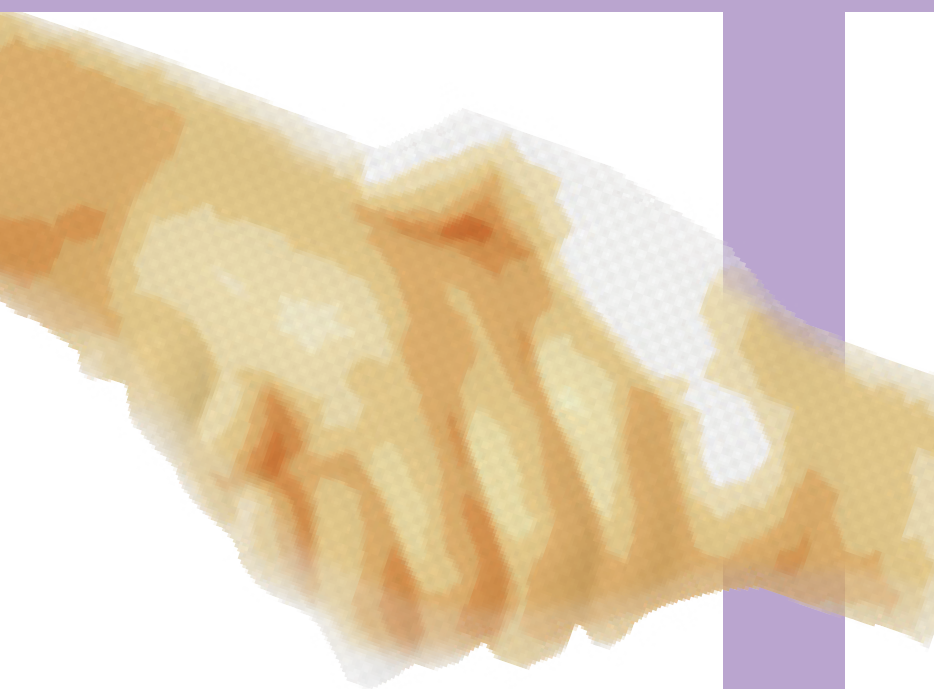


輸出管理DAY

for ACADEMIA

Export Control Day for Academia, 2025



【日 時】 2025年 12 月 5 日(金)
10:15～16:50

【場 所】 東京理科大学 葛飾キャンパス
図書館大ホール
(〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1)

主 催 : 輸出管理DAY for ACADEMIA(EFA)実行委員会 共 催 : 東京理科大学

後 援 : 文部科学省・経済産業省・外務省・出入国在留管理庁・特定非営利活動法人 産学連携学会・
一般財団法人 安全保障貿易情報センター (CISTEC)・日本安全保障貿易学会 (JAIST)・
一般社団法人 日本知財学会・一般社団法人 大学技術移転協議会 (UNITT)・
一般社団法人 日本電気計測器工業会 (JEMIMA)・公益社団法人 日本技術士会・株式会社 日刊工業新聞社

協 賛 : 合同会社 日本輸出管理研究所

○本プログラムは、下記の輸出管理 DAY for ACADEMIA (EFA) Website の「最新情報」に掲載しております。
どなたでもアクセスできます。

○講演資料等は、下記の Website の「最新情報」に、少なくとも 2026 年 1 月 30 日（金）まで掲載しております。
どなたでもアクセスできます。

[https:// efa-academia.net/](https://efa-academia.net/)

輸出管理 DAY for ACADEMIA



検索



アカデミアにおけるより実効的な輸出管理に向けて

大学・研究機関等における安全保障輸出管理に関する実務知識の普及と関係者の意識の向上を図ることを目的として、大学等に所属する実務者が中心となり、関係する政府機関、産業界にも呼び掛けて、2013年に第1回目を開催して以来、これまで11回の「輸出管理 DAY for ACADEMIA」の年次大会（以下「EFA大会」といいます。）を実施してまいりました。

EFA大会は、大学等の輸出管理関係者を中心としたコミュニティ形成に大いに資するとともに、大学等における輸出管理業務の問題の共有化、輸出管理に関する意識啓発、輸出管理業務の質の向上に意義あるイベントであり、継続して取り組むことの必要性も、参加された皆様を中心にご理解いただいているところです。

2025年12月5日（金）に開催の「輸出管理 DAY for ACADEMIA 2025（EFA2025）」におきましても、関係各機関にご協力をいただくことで、これまでと同様に本大会が意義深いものになると考えております。

ご案内の通り、国際社会情勢の急激な変化を受け、大学等の社会的役割の変容とともに大学が輸出管理に取り組む意義も変わり続けており、大学等の規模や実情等に応じて、より高度な輸出管理の実施が求められています。そこでEFA2025では「アカデミアにおけるより実効的な輸出管理へ向けて」をテーマに、パネル討論では、法令等が改正された「アカデミアにおける通常兵器キャッチオール規制見直しの対応」、各大学に共通する課題である「人材育成と該非判定—大学の輸出管理実務の視点から—」、分科会では、研究分野ごとの特色に応じた輸出管理の在り方に関して、「バイオ／ライフサイエンス分野における輸出管理」と「情報／データサイエンス分野における輸出管理＋その前に輸出管理そのものでお困りの方々へ」を取り上げます。アカデミアの輸出管理が直面している課題にどのように対応するのが良いのか、輸出管理関係者が一堂に会して検討できる大会とします。本大会の開催を通じて、大学・研究機関等における輸出管理体制がより適切に実施されることを目指します。

輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員長
狩野 幹人（三重大学 准教授）

目 次

プログラム等-----	5
運営資金等を支援いただいた企業・機関-----	1 6
輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員名簿-----	2 0
輸出管理 DAY for ACADEMIA (EFA) 2025 アンケートのお願い---	2 3

プログラム等

【テーマ】 アカデミアにおけるより実効的な輸出管理に向けて

【プログラム】

9:45～ 受付開始

10:15～11:45 分科会

分科会 1 「バイオ/ライフサイエンス分野における輸出管理」

《概要》

背景：これまで理工系の兵器製造に関する装置・部品などの輸出管理の経験のある方であっても、バイオ／ライフサイエンス分野の輸出管理を扱うと急になんとも言えないあいまいさ・分かりにくさを感じているという方々も多いのではないのでしょうか。では、その分かりにくさはどこから来ているのか、どのように理解すればわかりやすくなるのか、総合的に整理された資料は必ずしも十分でないと思われます。そこで本分科会では、バイオ・ライフサイエンス分野の輸出管理について、3つの視点からの講演を通じて情報を整理し、問題点について検討します。

1. **生物学者の視点：** そもそもバイオ／ライフサイエンス分野の輸出管理がわかりにくくなっている原因として、「生物兵器とは何か？」についての定義がはっきりしないことが問題ではないかと考えられます。そこで、専門の生物学者の視点から生物兵器に関して解説するとともに、理工系の兵器との相違点についても整理します。こうした、わかりにくさの原因の考察を通じて、少しでもわかりやすくすることを目指します。

2. **実務担当者の視点**：輸出管理の担当者にとって、バイオ／ライフサイエンス分野の輸出管理の案件は日常的に発生しており、たとえわかりにくくても待ったなしの状況です。そこで、どのような点に注意しながら該非判定を進めれば良いのか、具体的に導入・実施している例を紹介することで、担当者の方々の業務に即効性のある情報共有を行います。

3. **ルールが生まれる現場の視点**：バイオ／ライフサイエンス分野の安全保障貿易のルールは、日本が独自に制定しているわけではなく、Australia Group (AG) と呼ばれる国際的なレジームの枠組みの中で決められています。しかし、その AG の国際会議の中で実際にどのようなやりとりが行われ、どのような全体的な流れの中でルールが生み出されているのかを知る機会はほとんどありません。そこで、日本を代表して会議に参加している担当者の方に AG について紹介いただき、今後も繰り返されるルールの改正の際にその内容を正しく理解して業務に活かす助けとします。

モデレーター：三輪 佳宏（理化学研究所）

講師：三輪 佳宏

中田 修二（国立健康危機管理研究機構/東海大学）

小田川 肇（外務省）

※登壇者の略歴・講演題目は 10～11 頁を参照。

分科会 2 「情報/データサイエンス分野における輸出管理 ～その前に輸出管理そのものでお困りの方々へ～」

《概要》

かなりニッチな分科会です。このテーマは、「いわゆる文系大学において、情報／データサイエンス分野の学科が新設されることにより輸出管理が必要になった大学から、何をどうすればいいのか分からないとの声が聞かれる」という話が発端となっています。

そこで、前半では、新たに輸出管理を始めたり、既に体制はある

が、運用での問題が指摘される大学において、法令・ガイダンスの要求事項で、見落としやすい、又は、誤った認識や甘い認識をしやすい部分について、どのように対策・対応すればよいのか。後半では、ソフトウェアやデータが、規制リストでどのように規制されているのか、曖昧さに潜むリスクをどのように捉えればよいのかを議論してみたいと思います。

前後半、プレゼンテーションの後、会場からのご質問、ご意見を承り、全体での議論が出来ればと考えています。

プレゼンター：高橋 真一（芝浦工業大学）

※登壇者の略歴・講演題目は11頁を参照。

11:45～13:00 昼休み

《総合司会：金 美善（大阪大学）》

13:00～13:05 主催者挨拶

狩野 幹人（輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員長）

13:05～13:25 来賓挨拶

文部科学省 高等教育局 参事官（国際担当） 佐藤 邦明

経済産業省 貿易経済協力局

貿易管理部 安全保障貿易管理課長 末森 洋紀

外務省 軍縮不拡散・科学部 不拡散・科学原子力課長 古本 建彦

（代読：課長補佐 小田川 肇）

13:25～14:55 パネル討論①

「アカデミアにおける通常兵器キャッチオール規制見直しの対応」

《概要》

このセッションでは、2025 年 10 月施行の補完的輸出規制（通常兵器キャッチオール規制）の見直しに関するアカデミアの対応について、主に「人の受入れ（みなし輸出）」にフォーカスし取り扱います。

施行から約 2 か月経過した時点のため、通常兵器キャッチオール規制に関する見直し対応・運用の実例がまだ数多くないことを踏まえて、留学生や研究者といった「人の受入れ」の具体的な場面について仮想事例を示し、例えば需要者要件の確認などについて、パネラーによる対応の観点の提示と登壇者間での検討を行い、時間の許す範囲でフロアを交えた意見交換も行いたいと考えています。

また、「貨物の輸出」に関しても、規制見直しの影響がアカデミア以上に大きい産業界における対応の動向・観点について情報提供を行います。

国際的な研究・教育活動を推進していくうえで、アカデミアにおいてどのような対応が考えられるのか、参加者間で実践に役立つ知見の共有を図る場とします。

モデレーター：渡辺 修（東京理科大学）

パネラー：石川 綾子（名古屋大学）

山越 祥子（筑波大学）

小島 慶久（太陽日酸株式会社）

※登壇者の略歴・発表題目は 11～12 頁を参照。

14:55-15:15 休憩

15:15-16:45 パネル討論②

「人材育成と該非判定－大学の輸出管理実務の視点から－」

《概要》

中小規模のかなりの割合の大学では、輸出管理の運用の質を上げることが困難な状況にあります。何故なら、輸出管理を担当する事務職員は、その専従者ではなく、さらには数年のローテーションで交代します。一方、事務職員は教員の研究内容を理解することが困難な事が多く、最終的に大学組織が責任を負うべき該非判定を個々の教員にかなり依存しておこなうこととなります。従って、教員の輸出管理リテラシーを上げる必要がありますが、それ自体、容易ではない構造が存在します。また、こうしたジレンマを克服するには、輸出管理統括責任者を担う大学幹部の理解が必要ですが、十分に輸出管理リテラシーを有していないことが多く、問題の存在自体を認識していないこともあります。

こうしたジレンマを実務の現場でどのように克服すればよいのか、個々の大学の取組等について説明していただき、実務レベルで参考になる事例を紹介するとともに、大学の輸出管理における課題を会場の中で共有し、その課題を克服する道筋について探っていきます。

モデレーター：伊藤 正実（群馬大学）

パネラー：早川 知宏（電気通信大学）

高津 直志（豊橋技術科学大学）

中塚 祐子（奈良先端科学技術大学院大学）

石尾 則明（大阪公立大学）

松永 英美（長崎大学）

※登壇者の略歴・発表題目は13～15頁を参照。

16:45-16:50 閉会宣言

山田 朗（輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会副委員長）

17:15- 情報交換会（東京理科大学葛飾キャンパス管理棟2階食堂）

【各セッション登壇者の略歴および発表題目】

分科会1「バイオ/ライフサイエンス分野における輸出管理」

◆モデレーター
三輪 佳宏（国立研究開発法人理化学研究所 バイオリソース研究センター 室長/ 筑波大学ライフイノベーション学位プログラム 協働大学院 教授）
＜略歴＞
1994 年 京都大学大学院理学研究科博士後期課程 修了
1994 年 徳島大学歯学部 助手
1998 年 筑波大学基礎医学系 講師
2004 年～2008 年 科学技術振興機構 さきがけ研究者 併任
2020 年～現在 理化学研究所バイオリソース研究センター遺伝子材料開発室 室長

◆講演（1）
三輪 佳宏（モデレーターに同じ）
＜略歴＞
モデレーターに同じ
＜題目＞
バイオ/ライフサイエンス分野の輸出管理は何が分かりにくいのか？
◆講演（2）
中田 修二（国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局長参与/東海大学 総合科学 技術研究所 客員教授）
＜略歴＞
1972 年～2009 年 大阪大学基礎工学部制御工学科卒業後、日本電気株式会社に入社し 中央研究所等にて研究開発に従事
1981 年～1982 年 米国ミシガン大学 Visiting scholar
2009 年～2014 年 横浜国立大学 教員
2014 年～2017 年 大阪大学 研究推進・産学連携部 特任教授
2018 年～2020 年 筑波大学 利益相反・輸出管理マネジメント室 教授
2020 年 4 月～ 東海大学 総合科学技術研究所 客員教授
2024 年 4 月～ 国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局長参与
＜題目＞
医薬系大学・研究機関での安全保障輸出管理の事例紹介 ―医療研究・臨床活動での 知識を活用した輸出管理の取り組み―

◆講演（３）

小田川 肇（外務省不拡散・科学原子力課課長補佐）

＜略歴＞

1999 年 慶應義塾大学環境情報学部卒。NHK、在京米国大使館勤務等

2010 年に東京大学公共政策大学院で、2015 年にハーバード大学ケネディ行政大学院で修士号取得

2016 年 外務省不拡散・科学原子力課にて、無形技術移転対策やミサイル技術管理レジーム（MTCR）を担当

2020 年 在チェンナイ日本国総領事館領事（経済担当）

2023 年 外務省国際協力局国別開発協力第三課にてウクライナ支援など

2024 年 不拡散・科学原子力課課長補佐（輸出管理班長）

＜題目＞

オーストラリア・グループ ～バイオ関連輸出管理レジームにおける動向～

**分科会 2 「情報/データサイエンス分野における輸出管理
～その前に輸出管理そのものでお困りの方々へ～」**

◆プレゼンター

高橋 真一（芝浦工業大学 研究推進部・研究推進課 輸出管理担当）

＜略歴＞

2021 年 6 月～ 芝浦工業大学 研究推進部・研究推進課 輸出管理担当

安全保障貿易管理士（総合）、通関士有資格者、IT ストラテジスト他

パネル討論①

「アカデミアにおける通常兵器キャッチオール規制見直しの対応」

◆モデレーター

渡辺 修（東京理科大学 研究推進部 副主幹 安全保障輸出管理担当）

＜略歴＞

1991 年 3 月 東京都立大学人文学部卒業

1993 年 10 月～2015 年 9 月 東京理科大学 教務課、秘書課、総務課、情報企画課、人事課、学務課、学生支援部を歴任

2015 年 10 月～ 研究推進部にて安全保障輸出管理を担当

2022 年 1 月～ 経済産業省安全保障貿易自主管理促進アドバイザー

<p>◆パネラー</p> <p>石川 綾子（名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 輸出管理マネージャー）</p>
<p><略歴></p> <p>2008 年 3 月 名古屋大学法学部卒業</p> <p>2011 年 3 月 名古屋大学大学院法学研究科修了</p> <p>2012 年 3 月 名古屋大学 リサーチアドミニストレーション室 URA（法的・倫理的支援）、輸出管理マネージャー</p> <p>2014 年 8 月 経済産業省 安全保障貿易管理調査員（兼務）</p> <p>2016 年 9 月 国立遺伝学研究所 ABS(遺伝資源)大学体制構築 WG 委員（兼務）</p> <p>2022 年 経済産業省 安全保障貿易自主管理促進事業アドバイザー（兼務）</p> <p>2024 年 4 月～ 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部研究支援・人材育成部門 研究セキュリティユニット、輸出管理マネージャー</p> <p>2025 年 4 月～ 東海国立大学機構 スタートアップ統括室（兼務）</p>
<p>◆パネラー</p> <p>山越 祥子（筑波大学 利益相反・輸出管理マネジメント室 准教授）</p>
<p><略歴></p> <p>2014 年 3 月 東京大学農学生命科学研究科応用動物科学専攻 博士課程修了（農学）</p> <p>2014 年 4 月 東京大学 本部ライフサイエンス研究倫理支援室 特任助教</p> <p>2018 年 12 月 大阪大学 研究オフィス 特任講師（常勤）</p> <p>2022 年 9 月～ 現職</p>
<p>◆パネラー</p> <p>小島 慶久（太陽日酸株式会社 法務部担当課長 兼 日本酸素ホールディングス株式会社法務室担当課長）</p>
<p><略歴></p> <p>慶應義塾大学法学部卒業後、大手自動車部品メーカー勤務を経て、2021 年太陽日酸株式会社に着任。輸出管理統括部門の立場で太陽日酸及び日本酸素ホールディングスの輸出管理全般（規程管理、教育、審査、監査、輸出管理システム管理、海外拠点連携等）を担当。CISTEC（一般財団法人安全保障貿易情報センター）各専門委員会分科会委員（輸出管理のあり方専門委員会総合分科会、自主管理分科会、安全保障貿易情報分科会、制度専門委員会役務分科会、国際関係専門委員会米国輸出管理法制度分科会、エレクトロニクス専門委員会半導体製造装置・材料分科会、ABC 兵器・ミサイル関連機器専門委員会生物・化学兵器製造装置分科会等）、日本安全保障貿易学会員、安全保障貿易管理士（総合）、通関士有資格者。</p>

パネル討論②

「人材育成と該非判定－大学の輸出管理実務の視点から－」

◆モデレーター

伊藤 正実（群馬大学 研究・産学連携推進機構 教授、産学連携・知的財産部門 副部門長、研究支援人材育成コンソーシアム室長、輸出管理アドバイザー、輸出管理統括責任者補佐）

<略歴>

1987 年 早稲田大学理工学部化学科卒

1989 年 東京工業大学総合理工学研究科 化学環境工学専攻 修士卒

花王株式会社入社

1994 年 東京工業大学総合理工学研究科 博士課程卒 工学博士

日本学術振興会博士研究員 ミネソタ大学博士研究員

1994 年 大分大学地域共同研究センター講師

2006 年 大分大学イノベーション機構 教授、統括マネージャー

大分大学知的財産本部 副本部長

2009 年 特定非営利活動法人 産学連携学会 会長（兼務）（～2015）

群馬大学 共同研究イノベーションセンター 教授、知的財産戦略室長

2016 年 群馬大学 研究・産学連携推進機構 教授

産学連携知的財産部門 副部門長、研究支援人材育成コンソーシアム室長

2017 年 経済産業省輸出管理アドバイザー（兼務）、群馬大学 輸出管理アドバイザー

2020 年 群馬大学 輸出管理統括責任者補佐

2024 年 一般社団法人 リサーチアドミニストレータースキル認定機構 認定委員会委員長（兼務）

◆パネラー

早川 知宏（電気通信大学 学術国際部研究推進課 特任事務職員 研究コンプライアンス担当）

<略歴>

1986 年 東京大学に採用（国家公務員）

1989 年 文部省学術国際局。同局学術課・国際学術課、文化庁で勤務。省庁統合後、文部科学省では研究開発局に在籍。

2002 年 東京外国語大学、2007 年東京医科歯科大学、2009 年宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所、2014 年群馬大学、2018 年静岡大学等で管理職を務める。2024 年信州大学研究推進部長を最後に定年退職し、現在は、電気通信大学で輸出管理や研究インテグリティ等研究コンプライアンスを担当す

<p>る。安全保障貿易管理士（法令）。経済産業省・安全保障貿易自主管理アドバイザーを務める</p> <p><題目></p> <p>事務職員による輸出管理はどこまで可能なのか</p> <p>ー法令と教員のはざままで、どう生きるかー</p>
<p>◆パネラー</p> <p>高津 直志（豊橋技術科学大学 研究推進課 専門職員）</p>
<p><略歴></p> <p>2008 年豊橋技術科学大学に着任。産学連携、外部資金、契約・経理業務に従事し、経理係長を経て、2018 年、研究推進課への異動により安全保障輸出管理、利益相反等のリスクマネジメント、知財管理、産学連携を担当、現在に至る。</p> <p><題目></p> <p>輸出管理業務の効率化に向けた取組み ～該非判定・人材育成の観点を交えて～</p>
<p>◆パネラー</p> <p>中塚 祐子（奈良先端科学技術大学院大学 研究・イノベーション推進機構 研究推進部門 URA）</p>
<p><略歴></p> <p>2012 年 3 月 京都大学工学部工業化学科卒業</p> <p>2014 年 3 月 京都大学大学院工学研究科材料化学専攻修士課程修了</p> <p>2015 年 3 月～2016 年 2 月 ドイツ・イエナ大学オットー・ショット研究所 留学</p> <p>2017 年 3 月 京都大学大学院工学研究科材料化学専攻博士後期課程修了 博士（工学）</p> <p>2017 年 4 月～2019 年 3 月 東京大学生産技術研究所 助教</p> <p>2019 年 4 月～2025 年 9 月 奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構研究推進部門 URA(スタッフ)</p> <p>2025 年 10 月～ 奈良先端科学技術大学院大学 研究・イノベーション推進機構研究推進部門 URA(スタッフ)</p> <p><題目></p> <p>該非判定に向けての教員との対話</p>
<p>◆パネラー</p> <p>石尾 則明（大阪公立大学学術研究支援部研究推進課 URA 輸出管理アドバイザー）</p>
<p><略歴></p> <p>2012 年まで 半導体プロセスエンジニア（約 30 年間）</p> <p>2012 年 電機メーカー半導体製作所 輸出管理業務</p> <p>2014 年 安全保障貿易管理士（総合）、通関士試験合格</p> <p>2019 年 中小分析機器メーカー CP 再取得</p> <p>2022 年 5 月 大阪公立大学 現職</p>

<p><題目></p> <p>企業型の教員負荷の少ない輸出管理 ～3C チェックとVシート包括該非判定書～</p>
<p>◆パネラー</p> <p>松永 英美（長崎大学 研究開発推進機構 研究インテグリティ部門 上席 URA）</p>
<p><略歴></p> <p>長崎大学・佐世保工業高等専門学校に事務職員として勤務。</p> <p>会計系、病院系、研究系事務の勤務を経て、2024年4月より、URAに転向。研究インテグリティ部門において、輸出管理業務を主として担当。長崎県内大学等安全保障貿易管理に係る勉強会世話人。</p> <p><題目></p> <p>大学内部（事務職員）から見た輸出管理の現場について -長崎大学の事例紹介-</p>

運営資金等を支援いただいた企業・機関

一般財団法人安全保障貿易情報センター

合同会社日本輸出管理研究所

行政書士ファインテック技術法務事務所

株式会社日立ソリューションズ

CISTEC 総合データベース

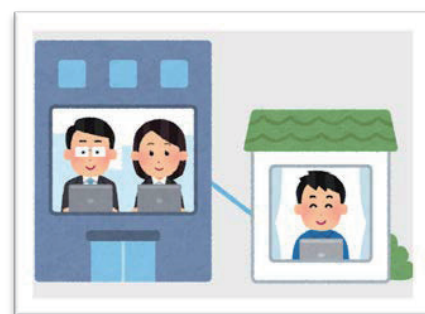
ガイドンスコーナー

ガイドンスコーナーがますます便利に！

働き方改革やテレワークの普及により、ガイドンスコーナーのご利用が拡大しています。このため、2023年12月4日より、ガイドンスコーナーで配信している電子書籍はすべて印刷可能とし、利便性を一層高めました。

収録 コンテンツ

モデルCPガイドンス／海外拠点のための安全保障
貿易管理ガイドンス
輸出管理品目ガイドンス 全編
(図説:軍事転用可能な民生品を含む)
海外法制度ガイドンス 全編



ガイドンス類の横断検索

- ガイドンス類をまとめて横断検索します。テキスト検索の結果から、ヒットした本文が効率よく閲覧可能。

電子書籍として印刷・閲覧可能

- ガイドンス類全編の電子書籍版も配信しています(印刷も可能)。

ガイドンスコーナーを導入すると。。

常に最新版のガイドンス類を24時間複数同時アクセスで閲覧可能です。テレワークの普及にも適応します。

これまでは複数の事業所で何冊も購入していたガイドンス類を、陳腐化を気にすることなく最新版が閲覧可能、オフィスの省スペース化にもなります。

賛助会員：月額 8,800円（税込）
一般：月額 17,600円（税込）

CISTEC

一般財団法人安全保障貿易情報センター

CISTEC

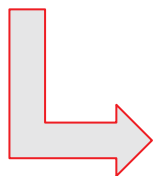


ご利用登録の発行後1年を経過しないと解約はできません。

EXPORT CONTROL INNOVATION !

輸出管理を創意工夫する 日本輸出管理研究所

- ★ 外為法の輸出者等遵守基準大丈夫ですか？
- ★ 組織として該非判定能力を高めませんか？
- ★ 専門家育成の必要はありませんか？
- ★ 米国の輸出管理法制や制裁の知識は十分ですか？
- ★ 効率的な輸出管理について考えてみませんか？



**責任の重大さに気がつき困っている
輸出管理のご担当の方は、**

日本輸出管理研究所にご相談下さい
アポイントはE-Mail(j.takano@jecl.net)でお願いします。



**Japan
Export Control
Lab.**

会社情報

合同会社日本輸出管理研究所

〒182-0021

東京都調布市調布ヶ丘1-1-3E116

代表者：高野順一

設立：2015年10月2日

EUアウトリーチプログラム事業一部受託実績

経済産業省委託調査事業受託実績

URL: <https://www.jecl.net>

e-mail: j.takano@jecl.net

tel: 090-9644-7456

輸出管理業務の社内体制構築・運用を支援します

- ☒ 自社の状況に則したオリジナルの研修をしてほしい
- ☒ 輸出管理の専門スタッフが不足している
- ☒ 第三者の視点による監査の機会がほしい

【お問い合わせ】



行政書士ファインテック技術法務事務所

☎ (052) 228-9772

ファインテック 輸出管理



詳しくは Web を
ご覧ください



輸出管理を 漏れなく！ 手早く！ 安全に！ **HITACHI**

法令リスク回避 & コンプライアンス強化

大学や研究機関にとっての安全保障貿易管理とは？

規制対象となる貨物や技術を、許可を取らずに輸出・提供してしまうと法律に基づき罰せられる場合があります。輸出管理はコンプライアンスの一環として、研究やその成果についても適切な管理が要求されています。



日立ソリューションズの「安全保障貿易管理ソリューション」は

輸出審査業務のフロー化や各種チェック業務など

システム活用で抜け漏れを防止し、法令リスク回避を支援します。

安全保障 日立 検索

NACCSから輸出入実績データを取り込み、事前取引審査の実績確認が可能！

安全保障貿易管理ソリューション www.hitachi-solutions.co.jp/ttp/

株式会社 日立ソリューションズ www.hitachi-solutions.co.jp



輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会名簿

2025 年 11 月 18 日現在、五十音順

No.	氏名	所属	部署・役職	備考
1	足 立 和 成	山形大学	名誉教授（定年退職）	オブザーバー
2	石 尾 則 明	大阪公立大学	学術研究支援部研究推進課 輸出管理アドバイザー	オブザーバー
3	石 川 綾 子	名古屋大学	学術研究・産学官連携推進本部 リサーチ・アドミニストレーター 輸管マネージャー	監査人
4	石 田 英 之	立命館大学	輸出管理アドバイザー	委員
5	石 原 祐 志	慶應義塾大学	学術研究支援部 総務担当 専門員	委員
6	伊 藤 正 実	群馬大学	研究産学連携推進機構 教授 産学連携知的財産部門 副部門長、 高度人材育成部門 研究支援人材育 成コンソーシアム室長、 輸出管理アドバイザー	委員
7	井 内 健 介	北海道大学	産学・地域協働推進機構 教授	委員
8	印 東 宏 紀	株式会社日興イノベーション	行政書士	オブザーバー
8	大 川 信太郎	森・濱田松本法律事務所	シニア・アソシエイト 弁護士	委員
10	大 林 明 彦	北海道大学	工学研究院客員教授	委員
11	荻 原 康 幸	九州工業大学	イノベーション本部 産学イノベ ーションセンター 副センター長／知的財産・技術移転 推進部門長	委員
12	小 野 薫	電気通信大学	研究教育マネジメント推進室 特任 教授 兼 輸出管理マネージャー	副事務局長
13	蔭 山 有 生	KDDI 株式会社	知的財産室知財渉外グループ	委員
14	加 藤 美 南	芝浦工業大学	研究推進部 次長	委員
15	狩 野 幹 人	三重大学	学長補佐（危機管理担当）、 研究・社会連携統括本部 准教授、 知財ガバナンス部門 部門長、 研究インテグリティ部門 副部門長、 大学院地域イノベーション学研究科 准教授	委員長
16	川 島 大 崇	東海国立大学機構 (岐阜大学・名古屋大学)	研究戦略部 研究安全管理課 事務系専門職	オブザーバー
17	金 美 善	大阪大学	研究オフィス 教授 輸出管理マネージャー 研究インテグリティ・マネジメント室長	委員
18	小 島 慶 久	太陽日酸株式会社	法務部 担当課長	オブザーバー
19	古 原 聡 美	九州工業大学	コンプライアンス室 / 研究公正推進係 輸出管理専門員	委員
20	小 柳 義 幸	東京科学大学	国際支援センター 国際コンプライアンス支援室 国際連携推進アドバイザー	オブザーバー
21	佐々木 雅 英	広島大学	学術・社会連携支援部リスクマネジ メント部門 主査	委員
22	佐 藤 弘 基	九州大学	法務統括室 室長補佐・特任教授	委員

No.	氏名	所属	部署・役職	備考
23	佐 野 恵利子	東京大学		委員
24	鈴 木 康 正	東京科学大学	国際支援センター 国際コンプライアンス支援室 国際連携推進アドバイザー	オブザーバー
25	高 津 直 志	豊橋技術科学大学	研究推進課 専門職員	委員
26	高 野 順 一	合同会社 日本輸出管理研究所	代表	副委員長, 事務局長
27	高 橋 真 一	芝浦工業大学	研究推進部 研究推進課	委員
28	田 沼 伸 久	京都大学	総合研究推進本部企画部門 (兼) 研究インテグリティ部門 U R A	オブザーバー
29	中 田 修 二	東海大学	総合科学技術研究所 客員教授	副委員長
30	中 塚 祐 子	奈良先端科学技術大学院大学	研究・イノベーション推進機構 研究推進部門 U R A	委員
31	中 野 実	株式会社 日立製作所	研究開発グループ 技術戦略室 技術統括センタ 技術管理部	オブザーバー
32	中 山 祐 里	東京科学大学	総務企画部 国際課 安全保障リスクマネジメント室 国際コンプライアンスグループ長	オブザーバー
33	則 竹 幹 子	CISTEC	国際輸出管理調査・協力部 兼 情報 サービス・研修部 上席主任研究員	副委員長
34	初 春	九州大学	法務統括室 特任准教授	委員
35	樋 口 禎 志		安全保障輸出管理コンサルタント	オブザーバー
36	平 田 和 也	東京科学大学	国際支援センター 国際コンプライアンス支援室 国際連携推進アドバイザー	オブザーバー
37	福 井 誠 司	東京科学大学	国際支援センター 国際コンプライアンス支援室 国際連携推進アドバイザー	オブザーバー
38	淵 田 英 彦	慶應義塾大学	理工学部 学術研究支援課 専門員	副事務局長
39	松 原 幸 夫			特別顧問
40	水 谷 隆	三豊科学技術振興協会	理事長	オブザーバー
41	宮 林 毅	名古屋大学	学術研究・産学官連携推進本部 学術・連携リスクマネジメント部門 部門長 特任教授	オブザーバー
42	三 輪 佳 宏	理化学研究所	バイオリソース研究センター (BRC) 遺伝子材料開発室 室長	副委員長
43	山 口 聡 子	北海道大学	薬学事務部 会計担当 係長	オブザーバー
44	山 越 祥 子	筑波大学	利益相反・輸出管理マネジメント室 准教授	委員
45	山 田 朗	愛媛大学	先端研究院 先端研究高度支援室 シニアリサーチアドミニストレーター	副委員長
46	山之内 雄 二	横浜国立大学	研究推進機構 輸出管理マネージャー	委員
47	渡 辺 修	東京理科大学	研究推進部 副主幹	委員

輸出管理 DAY for ACADEMIA (EFA) 2025 アンケートのお願い

今後更に有意義な EFA にするため、ご意見・ご感想をお聞かせください。

アンケートへのご回答につきましては、つぎの (1) または (2) でお願い致します。

(1) EFA 2025 終了の数日後に、参加登録時のメールアドレスへ、こくちーずプロからアンケートフォームをお送り致します。

(2) 下記の QR コードからも回答いただけます。

ご協力よろしくお願い致します。

輸出管理DAY for ACADEMIA 2025 アンケート調査



輸出管理 DAY for ACADEMIA 2025 資料

発行	2025 年 12 月
発行者	輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会
HP	https://efa-academia.net/
E-mail	efa.academiaoffice@gmail.com
